

# Better Life with Music

暮らしの中にもっと音楽を。



## | CONTENTS |

- 01 ローランドの「モノづくり × コトづくり」
- 03 株主の皆さまへ
- 05 新製品のご紹介
- 07 トピックス
- 09 営業の概況
- 11 四半期連結財務諸表(要旨)
- 13 会社の概要
- 14 株式の状況

## ROLAND REPORT

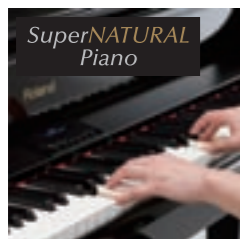
# 第40期 中間報告書

2011年4月1日から2011年9月30日まで

「Better Life with Music」を実現するための  
ローランドの「モノづくり×コトづくり」について、ローランドピアノ・デジタルを例にご紹介します。

モノづくり 楽器としての完成度を追求

音源



独自のテクノロジーによる  
「スーパーナチュラル・ピアノ音源」  
鍵盤ごとの音の違いや、タッチによって無段階に変化する音色、自然な減衰音など、音へのこだわりが演奏者の思いを忠実に伝えます。

鍵盤



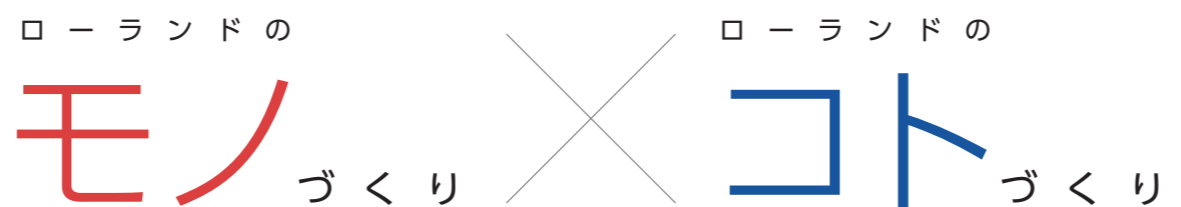
感性をあますことなく伝える  
「プログレッシブ・ハンマー・アクション鍵盤」  
ハンマーの重さだけで動く自然なタッチと、グランドピアノ特有のクリック感も再現。さらに触り心地にまでこだわった表現力豊かな鍵盤です。

キャビネット



インテリアとしても美しい  
キャビネットデザイン  
高級感と機能性を備え、木目調から、優雅なグランドピアノタイプ、コンパクトなスタイリッシュ・デザインまで、環境に合わせて選べます。

# Better Life with Music



独自のコア・テクノロジーを基に、楽器としての「音」の追求はもちろん、個々の奏法やフォームにまで徹底的にこだわります。

「モノづくり」から生まれた楽器を使い、店頭や音楽教室、イベントなど、さまざまな機会を通してより多くの方に感動や驚きをご提供します。



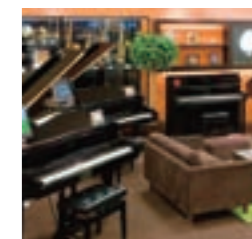
Roland Piano Digital HP307

ローランドピアノ・デジタル  
ピアノ演奏の楽しさと、ピアノを所有する喜びをお届けするために、最先端のデジタル技術でデジタルピアノ(電子ピアノ)の新しい世界をひらきます。

コトづくり 満足を超えた「驚き」や「感動」の創造

ショップ

商品の魅力を直接お伝えする  
ショップ・イン・ショップ  
提携した販売店様の店内に専用のローランド・コーナーを展開。専門スタッフが商品の魅力を直接お客様にお伝えします。



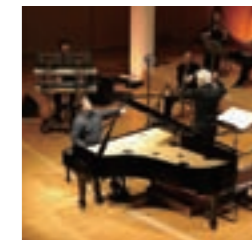
スクール

お客様に演奏できる楽しさを  
お伝えするスクール展開  
全国の特約店教室では、電子楽器を活かした独自の教育理念[ism(イズム)]により、楽しく効率的な音楽レッスンをを行っています。



ステージ

音楽の魅力をより深く、  
より広くご提供するイベント  
ローランドならではの電子楽器を使ったコンテストやコンサートを世界各地で開催。音楽の喜びをより多くの方にお届けします。





企業スローガン

創造の喜びを世界にひろめよう  
BIGGESTよりBESTになろう  
共感を呼ぶ企業にしよう

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。  
2012年3月期上半期の業績概況と今後の見通しについて、  
ご報告させていただきます。

代表取締役社長 田中英一

2012年3月期上半期連結業績

当上半期の当社グループを取り巻く環境は、日本国内では東日本大震災の影響による経済活動の一時的な停滞からは脱したものの、円高の更なる進行による景気下振れが懸念されております。また、北米では厳しい雇用環境が続く、欧州ではユーロ圏での財政・金融不安が広がるなど、先進国全般において先行き不透明な状況で推移しました。一方、中国、ブラジルを中心とした新興国では、緩やかではありましたが、持続的な経済成長が見られました。

このような中、電子楽器事業では、「Better Life with Music」をビジョンとして掲げ、これを実現するために、市場ニーズに合った新製品の投入やさまざま

なマーケティング活動により需要を喚起する取り組みに注力しました。また、コンピュータ周辺機器事業では、当期より「事業の軸を増やす」、「コスト競争力の強化」、「マーケットマネジメントの強化」を重点施策とした取り組みを開始しました。

しかしながら、当上半期の業績は、東日本大震災や円高の影響が大きく、電子楽器事業、コンピュータ周辺機器事業ともに減収となり、営業および経常損失となりました。

2012年3月期通期連結業績予想

(単位：億円)

	2012年3月期通期予想			前期実績
	今回予想	期初予想	対予想比	
売上高	773	800	△27	782
電子楽器事業	432	460	△28	458
コンピュータ周辺機器事業	341	340	+1	324
営業利益	14	4	+10	22
電子楽器事業	△8	△18	+10	△1
コンピュータ周辺機器事業	22	22	-	23
経常利益	7	△1	+8	9
当期純利益	4	△5	+9	△6

※金額は億円未満を切り捨て表示しています。

電子楽器事業では、ブラジルや中国等の新興市場は好調に推移するものの、主要市場である日本や欧米諸国では景気回復の足取りが鈍く、円高の影響もあり、売上高は当初予想を下回る見込みです。一方、東日本大震災の影響により上半期は工場稼働率が悪化しましたが、当初予想より影響が少なく、製造原価や販売費及び

一般管理費の削減もあり、営業損失は縮小する見込みです。コンピュータ周辺機器事業では、当初の予想通り売上高は欧州や中国を含むその他の地域が伸長し前年同期を上回るものの、在庫調整のため中国向け出荷抑制等による生産量減少で原価率が悪化し、営業利益は減益となる見込みです。

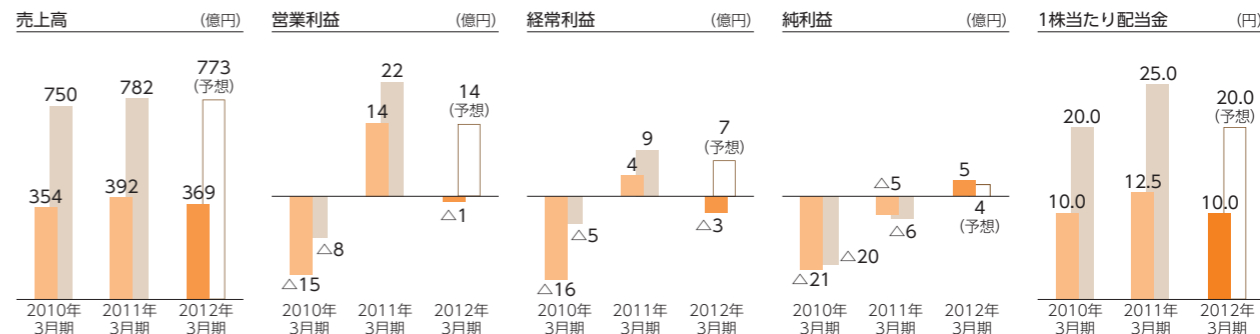
結果、電子楽器事業の営業損失縮小により、経常利益および当期純利益は当初予想を上回り黒字化の見込みです。

配当金

中間配当金につきましては、期初の予想通り、1株当たり10円とさせていただきます。また、期末の配当予想につきましても、期初の予想通り、1株当たり10円(中間配当金を含めて年間配当金は1株当たり20円)を予想しています。

連結財務ハイライト

■第2四半期累計期間 ■通期 ※金額は億円未満を切り捨て表示しています。



Video Editor  
ビデオキャンバス DV-7G

だれでも手軽に本格的な  
ムービー作品が作れる映像編集ツール



ビデオキャンバス DV-7Gは、扱いやすいユーザー・インターフェースを採用したソフトウェアと、アナログ感覚で操作できるマイク内蔵の専用コントローラーをパッケージした映像編集ツールです。自分で撮影したビデオや写真にBGMや効果音を組み合わせ、だれでも手軽に本格的なムービー作品を作ることができます。さらに、ロイヤリティフリーで、プロ・クオリティの映像/音楽素材も多数付属しています。趣味の作品づくり、ビジネスでのプレゼンテーション、バンドのプロモーションビデオ、学校行事ビデオの作成、店舗のプロモーションなど、趣味からビジネス用途まで、幅広く活用できるツールです。

このビデオキャンバスには  
“全宇宙”がまっている。

映画作家  
大林 宣彦 氏



子どもの頃、活動写真は僕にとって“世界”だったんです。世界中の夢がそこにあった。そして今、このビデオキャンバスには“全宇宙”がまっている。この宇宙で発見したり、学んだり、作品づくりの喜びを思い切り感じてほしいと思います。

Roland Piano Digital  
LX-15

自然で豊かに響く立体的な音場空間で  
演奏が楽しめるデジタル・ピアノ



LX-15は、漆黒の輝きを放つ黒塗鏡面艶出し塗装と、優雅で伸びやかなアップライトのフォルムが特長のデジタル・ピアノです。

グランドピアノさながらのサウンドと豊かな表現力を持つ「スーパーナチュラル・ピアノ音源」、思い通りの演奏をかなえる「PHA IIIアイボリー・フィール鍵盤」、より自然なペダル表現を可能にする「プログレッシブ・ダンパー・アクション・ペダル」など、演奏性を追求した機能を贅沢に装備。さらに、新開発のマルチチャンネル・サウンド・システム「アコースティック・プロジェクション」により、自然で立体感のあるピアノ独自の音場を再現します。

高級感あふれるアップライト型の優雅なフォルムに、グランドピアノさながらの豊かな演奏表現が可能なLX-15は、自宅や音楽学校などにおいて本格的なピアノ演奏ができるピアノです。

ローランドピアノ・デジタル  
F-120

エントリー・モデルで初めて「スーパーナチュラル・ピアノ音源」を搭載した、スリムでスタイリッシュな電子ピアノ。



サンプリング・パッド  
SPD-SX

お気に入りの音や楽曲を録音(サンプリング)し、ドラム・スティックで叩いて演奏するサンプリング・パッドの最新モデル。軽量&コンパクトなボディに、プロ・クオリティの演奏性、サンプリング機能を凝縮。



ループ・ステーション  
RC-300

ギターやボーカルなどのフレーズ演奏をその場で録音、それを繰り返し再生しながら新たなフレーズを重ねるループ・パフォーマンスが可能なBOSSループ・ステーションの最上位モデル。



コンパクト・エフェクター  
コンボ・ドライブ  
BC-2

プリティッシュ・コンボ・アンプ特有のサウンドとドライブ感をベースに、さらに幅広い音づくりができるエフェクター。

フィードバック/ブースター  
FB-2

さまざまなキャラクターのブースターを一台のコンパクト・ペダルで表現。



ポータブル・レコーダー  
R-26

指向性と無指向性の2種類のマイクを搭載し、最大6チャンネルの同時録音が可能。楽器演奏から、コンサートの収録、鳥のさえずりまで、プロ・クオリティで高音質録音できるポータブル・レコーダー。



オーディオ・プロセッシング・ソフトウェア  
R-MIX (2012年1月発表予定)

音楽を音の高さ、音の位置、音量に分解して視覚的に表示し、任意の一部分を抽出したり消去したりすることで、カラオケ・データの制作や耳コピー、リミックスなどが簡単にできるソフトウェア。



## 1 V-Piano Grand Premiere

ローランドピアノ・デジタルのフラグシップモデル[V-Piano Grand]の発売記念コンサートを、世界各国で開催。クラシックピアノ演奏をメインに、各地のクラシックホールで、V-Piano Grand内蔵のスピーカーのみを使用し、クラシック・ピアニスト、ピアノ音楽愛好家など、これまでデジタルピアノに比較的馴染みの薄かった方々にもV-Piano Grandをアピールしています。すでに、ロサンゼルス、ニューヨーク、ワルシャワ、ブダペスト、ハンブルグ、ウィーン、ストックホルム、ブリュッセル、ロッテルダム、パリ、リオン、モスクワ、マドリード、ミラノ、シドニー、ロンドン、トロント、クアラルンプール、東京、大阪等、18カ国21都市で開催しました。(10月末時点)



## 2 BOSSコンパクト・エフェクター・シリーズが「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」を受賞



GOOD DESIGN

「BOSS」は、ローランドがつくったギター・エフェクターのブランド。種類ごとにカラフルに色分けされたBOSSコンパクト・エフェクター・シリーズは、ギター演奏に幅広い表現力を加えることができます。堅牢なアルミ・ダイキャスト・ボディとペダル・スイッチ、音切れのないFET電子スイッチ、LEDによるオン/オフ表示、簡単な電池交換など、そのデザインは1977年の第1号機から現在まで不変で、世界中のギタリストに愛用されています。



## 3 ドラマーのためのソーシャル・ツール「Vドラム・フレンド・ジャム」が「グッドデザイン賞」を受賞

「Vドラム・フレンド・ジャム」のソフトをインストールしたパソコンにローランドの「Vドラム」を接続し、好きなジャンルの曲をダウンロードして演奏すると、その演奏を採点、得点が世界ランキングで表示されます。ツイッターにも連動し、世界中のVドラムユーザーと交流しながら、演奏を楽しむことができます。Vドラムを叩いて操作できるユーザー・インターフェースと、ツイッターを通じて世界中のユーザーと交流しながらドラムの練習を行える点を評価いただきました。



## 3 スペシャル対談 Music 夢 School～音楽で育む「夢を描く力」 2011年8月28日 東京・ハリウッド大学院大学

『夢を夢で終わらせることなく、現実にする人のパワーの源はどこにあるのか』をテーマに、脳科学者 茂木健一郎氏とローランド創業者の梯郁太郎氏が対談。「夢をみないと夢は語れない」「成功の秘訣、それは成功するまで続けること」「夢は自分だけのものにするのではなく、共通言語にして、みんなでシェアして初めて実現するもの」など、印象的な発言が聞かれました。対談の様子は、当社のAVミキサー&レコーダー「VR-5」でインターネット配信され、ツイッターには「感銘を受けた」という書き込みが多く寄せられました。(公益財団法人ローランド芸術文化振興財団主催)



## 4 AEO制度「特定輸出者」の承認を取得

2011年9月1日、セキュリティ管理とコンプライアンスに優れた会社に対して迅速で簡易な税関手続きを優遇するAEO (Authorized Economic Operator) 制度の「特定輸出者」の承認を取得しました。これにより、輸出通関時の税関による審査・検査が簡素化され、輸出業務の効率化が図られます。今後、お客様へのより一層のサービス向上に努めるため、「特定輸出者」として、さらなるコンプライアンスの強化を図るとともに、法令を遵守した貿易管理を推進します。

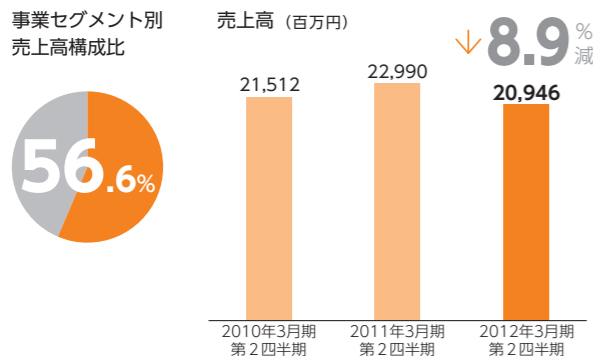


## 5 夏の節電対策

福島原発事故および浜岡原発の停止により夏季の電力供給不足が懸念される中、当社では、1. 全社的な節電対策の実施、2. 製造拠点のある浜松地区における夏季電力消費量(7～9月累計)の前年同期比15%削減を基本方針として、以下の節電対策に取り組みました。(1)毎月第2金曜日を全社休業日とする、(2)最終残業

時刻を設定、(3)室温を28度に維持、(4)共有部分の照明を削減、(5)パソコンの省エネ設定やサーバー統合結果、浜松地区の7～9月の電力消費量は前年同期比28.8%の削減、長野県にある松本工場においても前年同期比33.7%の削減となり、節電目標を達成しました。

### 電子楽器事業



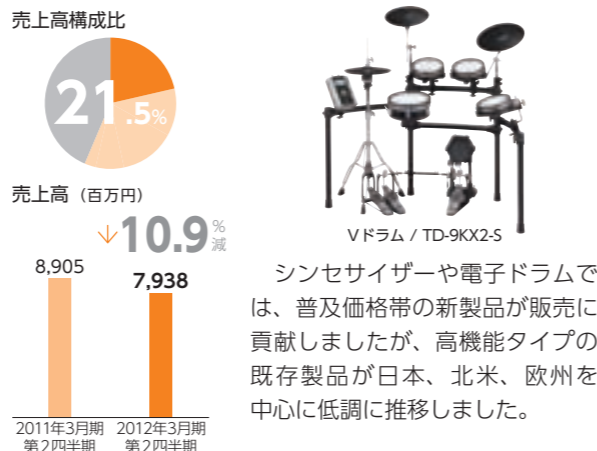
地域別売上高 (百万円)

2011年3月期 第2四半期	日本 5,004	北米 6,931	欧州 7,863	その他 3,189
2012年3月期 第2四半期	日本 4,436	北米 6,058	欧州 7,013	その他 3,436

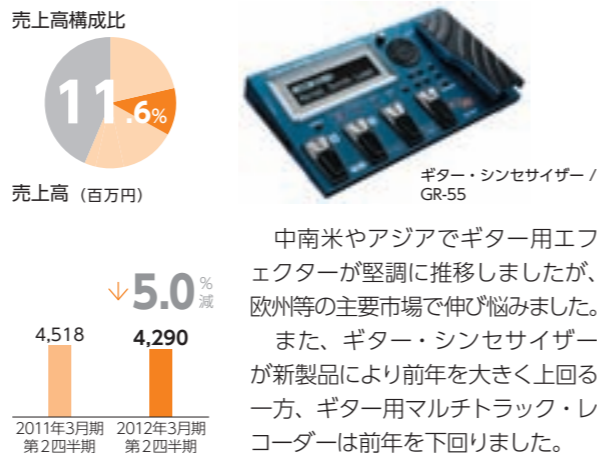
製品別では、ギター関連電子楽器や家庭用電子楽器の新製品が好調に推移したものの、シンセサイザーや電子ドラムなどの電子楽器は、高価格帯を中心に販売が低調に推移しました。また映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器においては、業務用映像機器が好調でしたが、その他の商品群で販売が伸び悩みました。

地域別では、中国、ブラジル、ロシアを中心とした新興市場において着実な成長がみられたものの、日本、北米、欧州の主要市場において、個人消費が低迷するなか、震災による一部製品の生産停滞もあり、販売が減少しました。

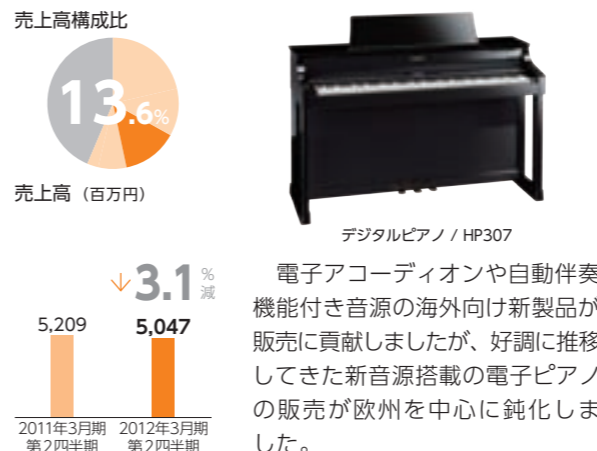
### 電子楽器



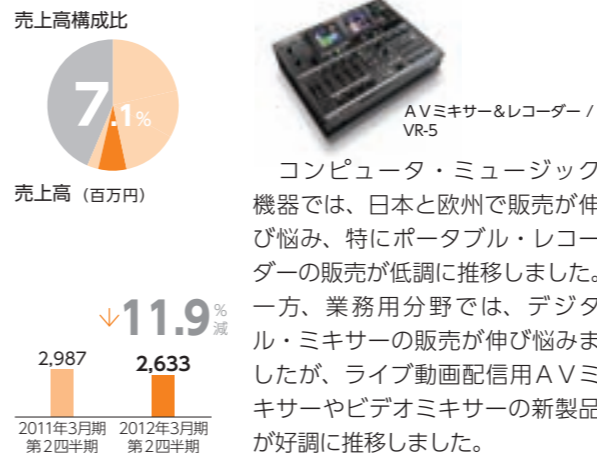
### ギター関連電子楽器



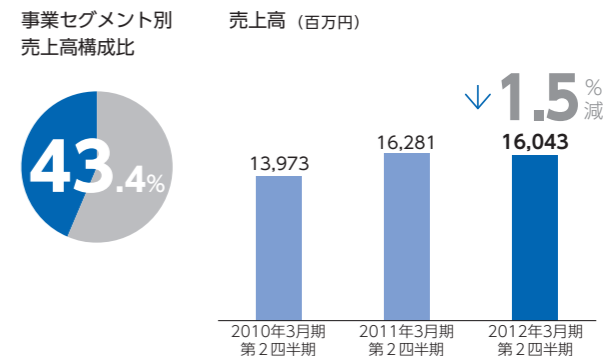
### 家庭用電子楽器



### 映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器



### コンピュータ周辺機器事業



地域別売上高 (百万円)

2011年3月期 第2四半期	日本 1,799	北米 3,786	欧州 5,662	その他 5,031
2012年3月期 第2四半期	日本 1,793	北米 3,812	欧州 5,556	その他 4,881

「カラー(業務用大型カラープリンター)」の分野では、立体物にも印刷可能なUVプリンターの新製品やメタリックシルバーインクを搭載したコンパクトなプリント&カット機の新製品により新規顧客層の開拓を図りましたが、欧州の設備投資意欲の低下やアジアでの成長が緩やかになったことで、主力製品の大型インクジェットプリンターの販売が減少しました。「3D(3次元入出力装置)」の分野では、デンタル市場向け切削機の新製品が販売に貢献しました。

プリント&カット機 Versa STUDIO BN-20



四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科 目	当第2四半期 2011年9月30日	前連結会計年度 2011年3月31日
<b>資産の部</b>		
流動資産	50,792	53,859
固定資産	27,412	25,261
有形固定資産	19,020	19,011
無形固定資産	1,602	1,250
投資その他の資産	6,790	4,999
<b>資産合計</b>	<b>78,205</b>	<b>79,121</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	10,229	12,238
固定負債	2,915	2,753
<b>負債合計</b>	<b>13,144</b>	<b>14,991</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	54,781	54,514
資本金	9,274	9,274
資本剰余金	10,801	10,801
利益剰余金	36,474	36,207
自己株式	△ 1,767	△ 1,767
その他の包括利益累計額	△ 6,257	△ 6,893
少数株主持分	16,536	16,508
<b>純資産合計</b>	<b>65,060</b>	<b>64,129</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>78,205</b>	<b>79,121</b>

**総資産 782億円**

連結子会社の吸収合併に伴う繰延税金資産等を含む投資その他の資産が17億円増加する一方で、現金及び預金が21億円減少し、また在庫削減等により商品及び製品が3億円減少したため、総資産は9億円減少しました。

2011/3/31	79,121
2011/9/30	78,205

**負債 131億円**

未払法人税等や未払金の減少等により負債は18億円減少しました。

2011/3/31	14,991
2011/9/30	13,144

**純資産 650億円**

**自己資本比率 62.0%**

前期末に比べて第2四半期末<sup>(※)</sup>の米ドルを除く主要国通貨が円安となり為替換算調整勘定が6億円増加。四半期純利益が5億円あった一方、剰余金の配当が2億円あり、純資産は9億円増加しました。

※海外連結子会社については、事業年度が1月～12月のため、前期末は2010年12月末、当第2四半期末は2011年6月末となります。

2011/3/31	64,129
2011/9/30	65,060

四半期連結損益計算書

単位：百万円

科 目	当第2四半期(累計) 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
<b>売上高</b>	<b>36,989</b>	<b>39,271</b>
売上原価	22,716	22,907
売上総利益	14,273	16,364
販売費及び一般管理費	14,456	14,865
<b>営業利益又は営業損失(△)</b>	<b>△ 183</b>	<b>1,498</b>
営業外収益	233	281
営業外費用	440	1,370
<b>経常利益又は経常損失(△)</b>	<b>△ 390</b>	<b>409</b>
特別利益	6	3
特別損失	17	32
<b>税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)</b>	<b>△ 400</b>	<b>380</b>
法人税等	△ 972	502
<b>少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)</b>	<b>571</b>	<b>△ 122</b>
少数株主利益	59	388
<b>四半期純利益又は四半期純損失(△)</b>	<b>512</b>	<b>△ 510</b>

**営業損失 1.8億円**

減収に加え、生産量減少による原価率の悪化により売上総利益が20億円減少。販売費及び一般管理費が4億円減少も、前年同期比16億円減少の1.8億円の営業損失となりました。

2010/9/30	1,498
2011/9/30	△183

**四半期純利益 5億円**

連結子会社ローランド エスジー(株)の吸収合併に伴う繰延税金資産の計上等の法人税等調整額が△12億円あり、5億円の純利益となりました。

2010/9/30	△510
2011/9/30	512

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科 目	当第2四半期(累計) 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2010年4月1日から 2010年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	792	332
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,024	△ 582
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 521	△ 166
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	△ 1,548
現金及び現金同等物の減少額	△ 1,738	△ 1,965
現金及び現金同等物の期首残高	19,047	20,401
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	118	175
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,426	18,611

**営業活動によるキャッシュ・フロー**

前第2四半期は、業績の改善等により3億円の収入となりましたが、当期は4億円の税引前純損失となるもののたな卸資産の削減11億円等により、7億円の収入となりました。

**投資活動によるキャッシュ・フロー**

関係会社株式や有形固定資産の取得により20億円の支出となりました。

**財務活動によるキャッシュ・フロー**

当第2四半期は配当金の支払等で5億円の支出となりました。

● 会社の概要 (2011年9月30日現在)

商号	ローランド株式会社 (Roland Corporation)
設立	1972年4月18日
資本金	9,274百万円
主な事業内容	電子楽器、電子機器及びそのソフトウェアの製造販売並びに輸出入
従業員数	3,178人(連結) 913人(単体)

● 役員の状況 (2011年10月1日現在)

代表取締役社長	田中英一
専務取締役	西澤一朗
常務取締役	近藤公孝
取締役	柳瀬和也
取締役	池上嘉宏
取締役	木下裕史
取締役	三木純一
取締役	湯川純郎
取締役	ジョン・ブース
社外取締役	佐藤克昭
監査役(常勤)	中村健也
監査役(非常勤)	河合保
社外監査役(非常勤)	川島実
社外監査役(非常勤)	前川三喜男
特別顧問	梯郁太郎
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

● 事業所 (2011年9月30日現在)

本社工場	静岡県浜松市北区細江町中川 2036 番地の 1
工場	都田工場、松本工場
研究所	浜松研究所
試験センター	都田試験センター
流通センター	浜松流通センター
国内オフィス	札幌、東京、名古屋、大阪、福岡
海外オフィス	ロッテルダム
ローランド・ミュージック・スクール	札幌/名古屋/大阪/広島/福岡 横浜(ローランド・サテラ)

● グループ各社(国内) (2011年9月30日現在)

開発	ボス株式会社
製造販売	アトリエビジョン株式会社
製造販売	ローランド ディー・ジー・株式会社

● グループ各社(海外) (2011年9月30日現在)

製造	Roland Europe S.p.A. Roland Taiwan Electronic Music Corporation Roland Electronics (Suzhou) Co., Ltd.
製造販売	Rodgers Instruments Corporation Cakewalk, Inc.
販売	Roland Corporation U.S. Roland Systems Group U.S. Roland Canada Ltd. Roland Brasil Importação, Exportação, Comércio, Representação e Serviços Ltda. Roland Corporation Australia Pty Ltd Roland (U.K.) Ltd. Roland Elektronische Musikinstrumente GmbH. Roland Central Europe N.V. Electronic Musical Instruments Roland Scandinavia A/S Roland Systems Group EMEA, S.L. Roland (Switzerland) AG Roland Italy S.p.A. Roland East Europe Ltd. Roland Music LLC Roland Taiwan Enterprise Co., Ltd. Roland Asia Pacific Sdn. Bhd. Roland (Shanghai) Logistics Co., Ltd.

● 発行株式数及び株主数 (2011年9月30日現在)

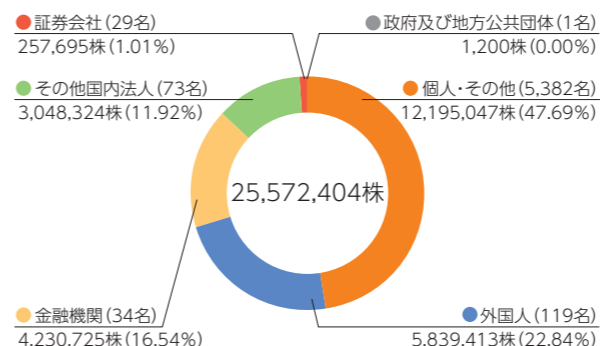
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式総数	25,572,404株
自己株式数	1,784,470株
株主数	5,638名

● 大株主 (2011年9月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
公益財団法人ローランド芸術文化振興財団	2,335	9.13
梯 郁太郎	1,507	5.89
タイヨウ ファンド エルピー	1,172	4.59
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブ アカウントアメリカンクライアント	1,119	4.38
ローランド社員持株会	838	3.28
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	715	2.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	662	2.59
株式会社りそな銀行	561	2.20
クレディ・スイス・セキュリティーズ(ヨーロッパ)リミテッド ピービー セック イント ノン ティアーナル クライアント	460	1.80
ノーザントラスト カンパニー エイブイエフシー リユー エス タックス エグゼンプテッド ペンション ファンズ	438	1.71

(注) 自己株式1,784千株は大株主から除いています。

● 株式の分布状況 (2011年9月30日現在)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。)
上場証券取引所	東京・大阪証券取引所市場第一部
株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 株式事務に関するご照会 電話0120-232-711 (通話料無料) [受付時間 9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)] WEBサイト <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告とし、以下の当社ホームページに掲載致します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。 <a href="http://www.roland.co.jp/ir/koukoku.html">http://www.roland.co.jp/ir/koukoku.html</a>



## ローランド IRサイトのご案内

ホームページ

<http://www.roland.co.jp/> (日本語サイト)  
<http://www.roland.com/> (英語サイト)



ローランドホームページでは、最新のニュースリリースやIR情報を掲載しています。

IRページ

<http://www.roland.co.jp/ir/> (日本語サイト)  
<http://www.roland.com/ir/> (英語サイト)



IRメール配信を行っています。  
ぜひ、ご登録ください。

 Roland

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川2036-1  
TEL : 053-523-0230